

留学体験レポート

国際学部 2年 坂上 和正

1. はじめに

留学を通して数え切れないほど多くの体験や経験をすることができ、また留学ならではの多くの感動もありました。このレポートを通してそれらの一部を紹介したいと思います。

2. 食事について

まず食事についてですが、基本的にはバイキング形式で食事することができます。ドリンクも同じく好きなだけ飲むことが可能です。アメリカの食事は日本と比べ全体的に高カロリーな食べ物が多いです。University of Central Missouri (UCM) のダイニングホールの場合ですが、フライドポテトとピザ、ハンバーガーは毎日出ていました。またケーキなども毎日出ていますが一口食べればわかると思います。かなり砂糖が使われているのか、とても甘く日本のものとは全く違います。ここまでだとあまりいいイメージが浮かばないと思いますが日替わりのメニューでは韓国料理などが出てきたり、上記のものとは比べ食べやすいものも多いので飽きる事もないと思います。しかし比較的、日本料理が出てくることはなかったように思いました。

3. 学生寮での生活について

学生寮では、1部屋に二人住むことが出来る設計になっており、シャワーとトイレはスイートメイトとの共有という形で利用することになっていました。UCMのハウジングのルールとして二人住める設計なのでお金を払えば一人部屋として使うこともできます。しかしかなり高いのでお勧めはできません。部屋にはベッドと勉強机が二つずつありクローゼット、タンスがありました。アメリカの学生の特性なのか分からないですが大音量で曲が流したまま生活する癖のようなものがあり寮の部屋の壁が薄いせいかかなりとなりまで響きました。一応、あまりにうるさいと Community Advisor と呼ばれる各階を管理している人たちが注意に行ってくれます。また部屋の家具などを損壊してしまった場合は、修理費用はその部屋の使用者に請求されます。

4. 観光について

11月のサンクスギビングデーの期間に観光でセントルイスに行きましたが、街並みがとても綺麗で特に夜景はライトアップなどで更に綺麗でした。またセントルイスにはゲートウェイ・アーチという巨大なアーチ状の建物があり、実際に見に行きました

がとても大きく驚きました。工事中であまり近寄ることはできませんでしたが、かなりの迫力でした。

5. おわりに

約3か月半という短いようで長いような期間でしたが、とても貴重な時間を過ごすことが出来ました。それは日本で生活していても体験できないことを多く体験し、経験することが出来たからです。もちろん英語力を向上させることもできましたが、海外で友人を作ったり、いろんな国籍の方と交流したり留学したことで、とても楽しい有意義な時間を過ごせたことに感謝しています。

